

第82期  
(中間期)

# 株主通信

2017年4月1日～2017年9月30日

自然と健康を科学する

株主の皆様へ P1

事業概況 P2

連結財務諸表 P4

特集1: ESG(環境・社会・ガバナンス) P5

特集2: 生薬の品質とトレーサビリティ P7

会社の概要・株式の状況 P10

## 長期経営ビジョン

～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する  
価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

“人”のツムラ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA

 株式会社 **ツムラ**

証券コード：4540

# 株主の皆様へ

## “KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して

### 長期経営ビジョン ～2021年ビジョン～

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第82期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

当社グループは、中期経営計画(2016年度～2021年度)において、「漢方市場の拡大と安定成長」「収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化」「中国における新規ビジネスへの挑戦」の3つの戦略課題に取り組んでおります。また、持続的な社会の形成と長期的な企業の成長のための視点であるESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した経営を実践しております。

「中国における新規ビジネスへの挑戦」では、新たに中薬市場参入に向けた準備も開始いたしました。

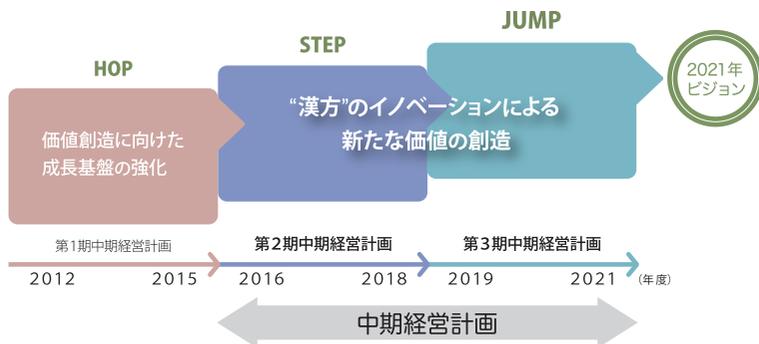
今後も、有効性・安全性に優れた高品質な漢方製剤を安定的に供給し、持続的な成長と新たな価値創造を目指してまいります。

また、当社は株主様への利益還元を会社の重要な政策と考え、中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する方針としております。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 加藤 照和

#### ■ 長期経営ビジョン実現へのロードマップ



## 経営方針

当社グループは、追い求めていくべき不変の基本的価値観である「自然と健康を科学する」という経営理念と、社会から必要とされ存在し続ける目的である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を基本的な理念と位置づけ、理念に基づく経営を実践すべく、諸施策に取り組んでいます。

## 業績の概要

### ● 連結業績

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日から2017年9月30日まで)の売上高は、前年同期に比べ、3.4%増の582億8千2百万円となりました。

利益につきましては、営業利益89億8千5百万円(前年同期比14.2%増)、経常利益92億4千8百万円(前年同期比25.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益66億1千4百万円(前年同期比24.5%増)となりました。売上原価率が前年同期に比べ1.1ポイント低下し、販管費率も0.3ポイント改善したため、営業利益率は15.4%(前年同期比1.4ポイント上昇)となりました。

売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(億円)



## 漢方製剤の概況

医療用漢方製剤全体の売上高は、前年同期に比べ3.4%伸長しました。漢方医学に対する医療関係者のニーズが多様化する状況において、医師への面談、医療機関説明会、漢方医学セミナーを基本とし、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドラインおよび漢方医学的な処方への使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しています。

引き続き、漢方医学および漢方製剤に関する情報提供の拡充を図り、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」の重点3領域を中心に、潜在市場の大きい漢方市場の拡大を進めていきます。

## ■医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

処方名	前第2四半期 (2016年度)	当第2四半期 (2017年度)	増減額	前年同期比
1. ダイケンチュウトウ 大建中湯	5,212	5,351	138	2.7%
2. ヨクカンサン 抑肝散	3,712	3,864	151	4.1%
3. ホチュウエッキトウ 補中益気湯	3,630	3,699	68	1.9%
4. リククンシトウ 六君子湯	3,431	3,577	146	4.3%
5. シャクヤクカンゾウトウ 芍薬甘草湯	2,506	2,660	153	6.1%
6. カミショウヨウサン 加味逍遙散	2,258	2,342	84	3.7%
7. バクモンドウトウ 麦門冬湯	1,986	2,002	16	0.8%
8. グレイサン 五苓散	1,715	1,921	206	12.0%
9. ゴシャツンキガン 牛車腎気丸	1,901	1,889	△ 12	△ 0.6%
10. サイレイトウ 柴苓湯	1,771	1,812	40	2.3%
医療用漢方製剤129処方合計	53,974	55,784	1,810	3.4%

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日現在)	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	134,679	<b>166,825</b>	32,146
固定資産	87,329	<b>91,639</b>	4,309
有形固定資産	64,686	<b>68,141</b>	3,454
無形固定資産	266	<b>360</b>	93
投資その他の資産	22,376	<b>23,137</b>	761
資産合計	222,008	<b>258,464</b>	36,456
負債の部			
流動負債	31,883	<b>48,200</b>	16,316
固定負債	32,727	<b>47,813</b>	15,086
負債合計	64,611	<b>96,014</b>	31,402
純資産の部			
株主資本	145,972	<b>150,385</b>	4,412
その他の包括利益累計額	8,811	<b>9,352</b>	540
非支配株主持分	2,613	<b>2,713</b>	99
純資産合計	157,397	<b>162,450</b>	5,053
負債純資産合計	222,008	<b>258,464</b>	36,456

Point  
1

### 負債合計

300億円の国内無担保普通社債を発行(6月)。  
使途は設備投資資金など

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	増減
売上高	56,359	<b>58,282</b>	1,923
売上原価	24,256	<b>24,404</b>	147
売上総利益	32,102	<b>33,878</b>	1,775
販売費及び一般管理費	24,234	<b>24,893</b>	658
営業利益	7,868	<b>8,985</b>	1,116
営業外収益	428	<b>524</b>	95
営業外費用	930	<b>261</b>	△ 669
経常利益	7,366	<b>9,248</b>	1,882
特別利益	0	<b>30</b>	30
特別損失	19	<b>40</b>	21
税金等調整前四半期純利益	7,346	<b>9,238</b>	1,891
法人税等	1,921	<b>2,469</b>	548
非支配株主に帰属する 四半期純利益	114	<b>153</b>	39
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,311	<b>6,614</b>	1,302

Point  
2

### 販売費及び一般管理費

業務効率化に伴う経費抑制等により、販管費率は  
前年同期比0.3ポイント低下の42.7%

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,513	<b>11,413</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,644	<b>△ 19,011</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,613	<b>25,317</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 828	<b>△ 181</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,428	<b>17,538</b>
現金及び現金同等物の期首残高	25,128	<b>29,901</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,876	<b>47,439</b>

# 特集1: ESG (環境・社会・ガバナンス)



ツムラグループは「漢方・生薬事業」を通じて、持続的な社会の形成と長期的な企業の成長のための視点であるESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した経営を実践しています。



## 環境 Environment

生薬資源・自然環境の保護、野生生薬の栽培化研究など

## 社会 Social

生薬栽培による1次産業の活性化への貢献、高齢者・障がい者の雇用機会の創出

国内では生薬生産の拡大を図るべく、収量および品質の向上などを目的として、生薬栽培に関する研究に取り組んでいます。ここでは生薬栽培を通じ、1次産業の活性化に貢献するとともに障がい者の方々の雇用機会の創出に向けた取り組みをご紹介します。

### ●北海道、てみるファームの取り組み

#### 環境保護と国内生産

生薬「茯苓」<sup>フクリョウ</sup>は全量を中国から輸入しています。茯苓栽培は、松の原木を利用するため、松の伐採を伴います。当社では、2010年から農業生産法人「てみるファーム」と、おが屑を用いた茯苓の室内栽培に関する共同研究を開始しました。2017年に専用施設を竣工し、大規模化に向けて研究を継続しています。この取り組みにより、環境保護につながるだけでなく、従来の栽培に比べて栽培期間の短縮、作業の軽減などのメリットも期待されています。



茯苓室内栽培の様子

#### 障がい者雇用

てみるファームは、社会福祉法人「はるにれの里」の有志を中心に、農業を通じ、障がい者の方々の一般就労を図る目的として、2010年に設立されました。すでに生薬「蘇葉」<sup>ソヨウ</sup>の契約栽培を行っていますが、茯苓専用施設においても「障がい者雇用拡大のモデルケース事業」として連携を強化していきます。

### ●熊本県、あさぎり薬草合同会社の取り組み

当社は、2007年より、あさぎり薬草合同会社と生薬「柴胡」<sup>サイコ</sup>の契約栽培を開始しました。本年7月には九州の生産拠点として、熊本県、あさぎり町および人吉・球磨<sup>くま</sup>地域の市町村が共同で加工施設を竣工しました。今後もさらなる産地拡大を目指し、生産者と一丸となって生薬栽培に取り組んでいきます。



あさぎり町薬草加工所

## ●「障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰」を受賞

本年9月、これまでの障がい者雇用への取り組みが評価され、2017(平成29)年度の「障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

当社はこれからも、「漢方・生薬事業」を通じて、持続可能な社会に貢献していきます。



## ガバナンス Governance

### 実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築と運用

当社は、コーポレート・ガバナンスが十分に機能し、企業の社会的信頼に応える体制とするため、本年6月に「監査等委員会設置会社」へ移行しました。また社外取締役を過半数とすることにより、取締役会の監督機能を強化し、経営の健全性および透明性の向上を図っています。さらに取締役会の任意の諮問機関として、「指名・報酬諮問委員会」を設置し、取締役・執行役員等の指名・報酬に関して、独立社外取締役の適切な関与と助言を得ることで、取締役会機能の独立性・客観性と説明責任を強化しています。

今後も当社は「自然と健康を科学する」という経営理念のもと“持続的な成長と中長期的な企業価値の向上”を図るため、継続的なコーポレート・ガバナンス体制の強化を図っていきます。



(後列左より)

取締役 常勤監査等委員 おおこうち きみかず 大河内 公一	社外取締役 監査等委員 はねいし きよみ 羽石 清美	社外取締役 監査等委員 まつした みつとし 松下 満俊	代表取締役社長 社長執行役員 かとう てるかず 加藤 照和	取締役 社長執行役員 ふじ やすのり 藤 康範	社外取締役 すまもと しげる 杉本 茂	社外取締役 まつい けんいち 松井 憲一
--	-------------------------------------	--------------------------------------	--	----------------------------------	---------------------------	----------------------------

(前列左より)

取締役 専務執行役員 すぎた とおる 杉田 亨	社外取締役 ますだ やよい 増田 弥生
----------------------------------	---------------------------

## ■ 執行役員

社長執行役員\* 加藤 照和

専務執行役員\* 杉田 亨

常務執行役員 高崎 隆次

上席執行役員\* 藤 康範

執行役員 村田 亮市

執行役員 戸田 光胤

執行役員 碓井 公利

執行役員 安達 晋

執行役員 関根 隆志

執行役員 菅原 秀治

\*取締役を兼務する執行役員

## 特集2: 生薬の品質とトレーサビリティ



漢方製剤をはじめとする当社製品は、厳格な品質管理体制により常に安全性が確保されています。生産地から調達した生薬の検査は、生産工程へ進む第一関門であり、合格品のみで製造が行われます。製造過程においても残留農薬や重金属などの検査を徹底しています。生薬から最終製品に至るまで、徹底した安全管理の取り組みにより、最終製品の安全性を確保しています。



### ●生薬生産の管理

当社は、生薬の安全性・品質保証体制をより強固なものにするため「ツムラ生薬GACPポリシー」に関する規程(ツムラ生薬GACP※1)を制定し、運用しています。

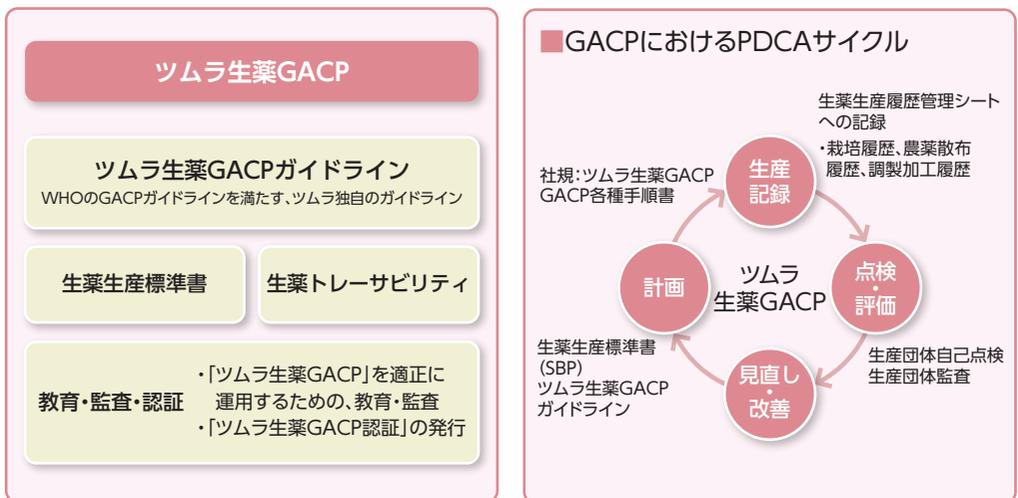
生薬原料が生産地から深圳津村薬業有限公司または石岡センターに納入されるまでには、栽培・加工・輸送・保管などの多くの段階があります。当社では各段階における実施時期や条件などの生産履歴情報を記録として残す生薬トレーサビリティ体制を運用しています(9ページ参照)。

ツムラ生薬GACPは、「ツムラ生薬GACPガイドライン」「生薬生産標準書※2」「生薬トレーサビリティ」「教育・監査・認証」で構成されています。

ツムラ生薬GACPにおけるPDCAサイクルを適正に機能させ、継続的に生薬生産管理体制を改善・強化することにより、安全な生薬の安定確保につなげていきます。

※1 GACP: Good Agricultural and Collection Practice

※2 生薬生産標準書: 当社が要求する品質の原料生薬に仕上げるため、生薬ごとに当社と各生産団体が互いに取り決めた栽培および採集法、収穫後の調製加工法、保管・輸送方法や栽培中に使用することができる農薬などについてまとめたもの



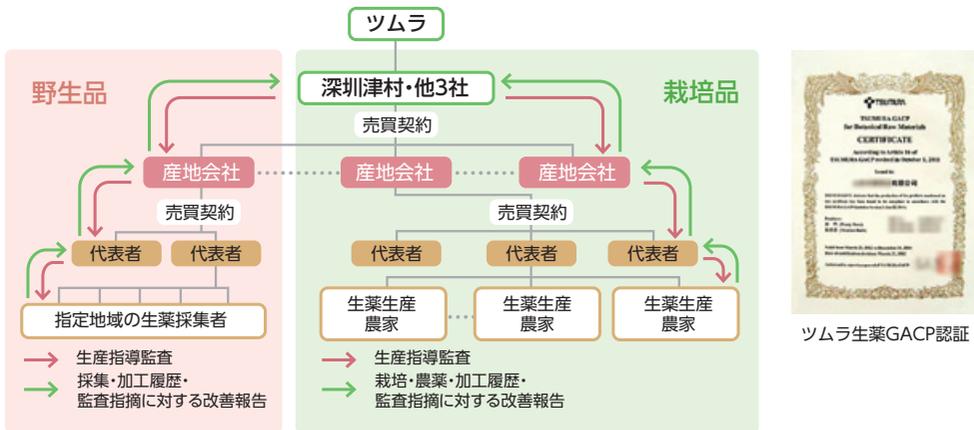
## ●中国での生薬生産管理

中国の「産地会社」、「生薬生産農家」などにおいて、ツムラ生薬GACPに基づく生薬生産を行っています。中国の産地会社※1によって特定された代表者※2が、傘下にある生薬生産農家の栽培などの情報を収集する体制が整っているため、生薬生産農家まで遡及し、情報を確認することができます。

※1 産地会社:中国の生薬調達体制の中で当社の生薬調達関連会社(深圳津村他3社)へ、原料生薬を供給する会社。主に生産地に所在し、生薬の栽培管理や生薬生産農家からの購入、調製加工を行う

※2 代表者:生薬生産農家のまとめ役。生薬生産農家の管理・情報収集・教育および出荷貨物の取りまとめなどを担う

## ■中国での生薬GACPIによる生薬生産



### <生薬生産農家の管理>

中国の生薬生産農家の管理は、産地会社が代表者を通じて、ツムラ生薬GACPの手順に則って生薬生産農家に教育指導を実施しています。どこの生薬生産農家から生薬を購入したかについては、すべて産地会社を通して特定しています。また、生薬生産農家の特定の方法は、生薬の栽培開始時から事前特定する場合と、生薬購入時に特定する場合があります。

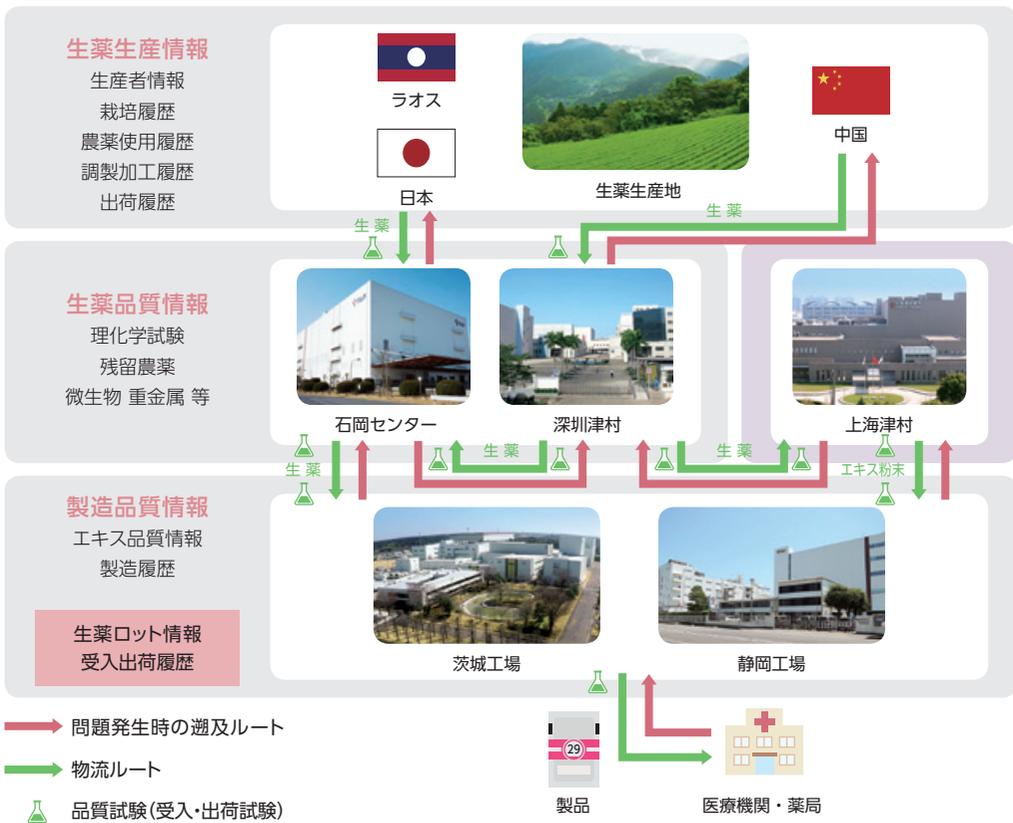
### <産地会社の管理>

中国のすべての産地会社に対してツムラ生薬GACPIに基づく監査を実施しています。

今後もツムラ生薬GACPを遵守するとともに、生薬生産に携わるすべての人々との相互信頼を醸成し、安全な生薬の安定確保に対する取り組みを進めていきます。

● ツムラのトレーサビリティ

当社は、最終製品の安全性確保に加え、生薬の安全性をより強固なものにするために、生薬トレーサビリティ体制の強化に取り組んでいます。当社が受け入れた原料生薬には、栽培から最終製品の製造に至る各プロセスにおける情報等が記録されています。各プロセスで問題が生じた場合、生薬ロット情報をもとに、生薬生産地まで遡ることができます。



～トピックス:中国平安保険との資本業務提携～

当社は本年9月に中国の四大保険会社の一つである中国平安保険(集団)股份有限公司(以下、中国平安保険)と、長期戦略的なパートナーシップの構築へ向け資本業務提携契約を締結し、本年10月に同社子会社である中国平安人寿保险股份有限公司(以下、平安人寿)を割当先とする第三者割当を実施した結果、平安人寿は当社発行済株式総数の10%を保有する筆頭株主となりました。

本提携は、当社が有する漢方・生薬事業における技術・ノウハウと、中国平安保険の有する経営資源や顧客基盤等を組み合わせることで、中国国民の医療と健康に貢献するものであり、両社の企業価値向上に寄与するものであると考えています。また、当社は、中国における中薬産業のさらなる発展を推進するとともに、中薬の品質標準および生薬栽培から最終製品までを網羅する新たなビジネスモデルを構築することができ、同時に、中国国内の生薬の品質向上や生薬資源保護に寄与しながら、当社の生薬原料の安定確保にもつなげるものと考えています。なお、中国平安保険と当社は、当社の同意なく保有比率を引き上げないこと、当社への役員派遣は行わないことで合意しています。

# 会社の概要・株式の状況 (2017年9月30日現在)

## 会社概要

本社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創業	1893年(明治26年)4月10日
設立	1936年(昭和11年)4月25日
資本金	194.87億円
従業員数	(単体)2,413名(就業人員数) (連結)3,377名(就業人員数)

## 連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	運送および保管
株式会社夕張ツムラ	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
津村(中国)有限公司	中国事業全体の経営管理
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
上海津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発

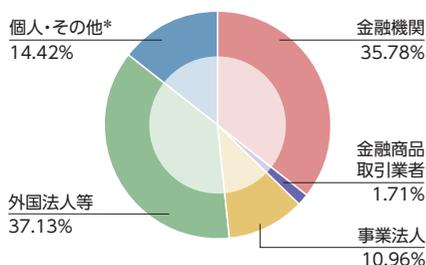
## 株式の状況

● 発行可能株式総数	250,000,000株
● 発行済株式の総数	70,771,662株 (自己株式 1,989,382株を含む)
● 株主数	9,953名

## 大株主の状況

株主名	持株数		持株比率
	千株	%	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,774	6.94	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,181	6.08	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,814	4.09	
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,197	3.19	
ツムラグループ従業員持株会	1,783	2.59	
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	1,757	2.55	
BRIGHT RIDE LIMITED	1,692	2.46	
第一三共株式会社	1,525	2.22	
THE BANK OF NEW YORK 133524	1,475	2.14	
GOVERNMENT OF NORWAY	1,246	1.81	

### 〈所有者別株式数分布状況〉



\*「個人・その他」には、自己株式1,989,382株を含めています

(注1)当社は、自己株式を1,989,382株保有していますが、上記大株主から除外しています。また、持株比率は自己株式を控除して計算しています

(注2)中国平安人寿保险股份有限公司が、10月13日付、10%の株式を保有し、当社筆頭株主となっています

## 配当金

### 配当金の推移(円)



(注)2017年度の期末配当および配当性向については、第82回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

当社では、株主還元につきましては、以下の方針としています

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向などを総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

## 株主インフォメーション

「株主・投資家の皆さま」  
最新のIR情報を掲載しています。



ホームページのご案内  
<http://www.tsumura.co.jp/>

ツムラ 検索

### 株主優待制度

【3年以上継続保有】

◎入浴剤バスハーブ

- ・100株以上  
小(210ml)×1本
- ・1,000株以上  
大(650ml)×1本



◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年2回)

- ・100株以上  
抽選で各40名様

詳細はQRコードからアクセス  
してください。



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm">http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ  
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号  
TEL 03-6361-7101



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。